

■再チャレンジに向け、ジオパークの Mine秋吉台ジオパーク構想

4月14日㈰に、美祢市ジオパーク推進協議会第3回総会が開催され、新たなジオパークの名称とテーマが決まりました。それに伴い、ロゴマークのデザインも新しくなりました。



That's Mine, It's Mine

Mine秋吉台 ジオパーク構想

Mineの頭文字である「M」と、秋吉台の石灰岩のイメージを融合したシンボルマークです。「・」は地球（ジオ）を表現しています。

① 名称について

新名称：**Mine秋吉台ジオパーク構想**

今回、新たに名称に追加された「**秋吉台**」は、地質学的に貴重であり、世界的な知名度も高いことから、世界ジオパークを目指す上でも非常に効果的です。

「**Mine**」は“鉱山”、“私のもの”を意味しており、鉱山で栄えた私たちのふるさと「美祢」を表しています。また、「**Mine**」という他地域のジオパーク名称にはないアルファベット表記をあえてすることにより、他地域との差別化を図っています。

② テーマについて

新テーマ：**カルスト台地に息づく地球と生命の歴史 ～自然と文化の調和を目指して～**

旧テーマについては、審査機関である日本ジオパーク委員会（JGC）や大学等の研究機関から「着眼点はおもしろいが、地球の歴史に沿った地域を特徴づけるテーマの方がなお良い」とのご意見をいただきました。

美祢地域に広がる秋吉台は、これまで様々な面において、地域の人々の暮らしや産業を支えてきました。また、秋吉台の周辺には、太古の森林が長い時間をかけて変化した**石炭層**や、火山活動によってもたらされた**銀や銅の鉱床**などがあります。今後、美祢地域では従来のテーマも大切に使用しつつ、地域を代表すると言える秋吉台のカルスト台地を根底とした、地域の自然と文化、またその調和について、地域内外に広く発信していきたいと考えています。



めざせ！ 世界ジオパーク

美祢ジオパーク構想



“白” “黒” “赤” を巡る旅

これまでのテーマはどうなるの？

これまでの活動で定着してきた従来のテーマも大切に使用していきます。

新しい名称とテーマが決定！ カルスト台地に息づく地球と生命の歴史 ～自然と文化の調和を目指して～

ジオパークってなんだろう？

ジオパークとは、地域の見どころに行ったり、名物を食べたりしながら、**地域の自然や文化の成り立ち・しくみを楽しみつつ学ぶ場所**のことです。「ジオ」とは「地球」を意味し、私たちの住む「地球」のこと、また「地球」と私たちの「生活」とのかかわりをもっとよく知ろう！という想いがジオパークには込められています。

なぜ美祢地域はジオパークを目指しているの？

ジオパーク活動を行うことにより、①自然環境の保全、②子どもたちへの教育、③地域振興への活用という三者をうまく融合させることができます。ジオパークでは**“保全という活用”**を理念としており、①～③をバランスよく継続して行うことで、より多くのひとを経済的にも精神的にも幸せにすることができます。また、地域の未来を担う人材の育成が期待されます。

③ 支援体制

山口大学と包括的連携・協力に関する協定を締結



協定を締結しました。

市では、市が抱える課題の解決と第一次美祢市総合計画に掲げる基本目標の達成には、学術研究に基づいた科学的な視点と、様々な分野の研究成果を有機的に結び付けることが重要と考えており、また山口大学においては、理学部を中心として秋吉台、秋芳洞、長登銅山跡などの自然遺産を活用した様々な活動を美祢市において展開されており、今後もテーマ発掘が期待できます。

この協定締結により、今後地域課題の解決や地域政策の研究などにおいて、それぞれが有する資源を活用した組織的かつ効果的な取り組みを行っていきます。

平成27年度の認定を目指します！！

問合せ先 Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局（美祢市教育委員会事務局 世界ジオパーク推進課内）

[☎0837(63)0055] [✉0837(62)0324]

県政推進懇談会において 村岡県知事へ要望



4月15日
岡山市湯田温泉の翠山荘において、県市長会の定例会に合わせ、県政推進懇談会が行われました。

村田市長

は村岡県知事へ、世界ジオパークの認定を目指す市の取り組みに対する支援を要望し、村岡県知事から力強い支援の言葉をいただきました。

また、山口県では、昨年11月に山口県美祢ジオパーク支援会議を設置、今年2月には美祢ジオパーク構想プロジェクトチーム及びワーキンググループが発足するなど、支援体制を整えています。



※各方面から大きく注目され、期待されています。